

平成23年度 第1回花巻市文化財保護審議会

(記録)

日時：平成23年6月28日(火)

午後1時30分～午後2時50分

(休憩なし)

会場：花巻市役所石鳥谷総合支所3階

3-2、3-3会議室

----- 次 第 -----

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 協議
 - (1) 平成22年度文化財関係事業報告について
 - (2) 平成23年度文化財関係事業計画について
 - (3) 東日本大震災に伴う国指定等文化財の被害状況について
- 5 その他
- 6 閉 会

(委員11名中、欠席委員1名)

会議の内容(概要)は、以下の通り。

(会議に先立って、教育委員会事務局の出席職員の紹介)

1 開 会 13:30～

2 教育長あいさつ

本日は、22年度の事業報告、23年度の事業計画、そして、3月の大震災に伴う文化財の被害の状況について報告いたします。加えて、これからの文化財指定についてご意見を頂戴できればと思っております。よろしく申し上げます。

3 会長あいさつ

平泉が世界遺産登録になり、これに伴う花巻市の文化財をどうするか、ということも考えていかなければならない。

懸案となっているいろいろな遺跡、史跡の整備について話し合いをしたい。

23年度の新しい文化財事業についての説明があるので、これらについて、皆様から活発な意見を賜り、花巻の文化財行政をさらに進めて参りたい。よろしく申し上げます。

4 協議（報告） 議事進行は瀬川会長

- (1) 平成22年度文化財関係事業報告について（資料P2～9）
中村課長説明（説明内容省略）
（引続き、関連して）
- (3) 東日本大震災に伴う国指定等文化財の被害状況について（資料P15）
小原係長説明（説明内容省略）

○質疑応答（主なもの）

佐竹委員＝ハナショウブはどういう状況か？

岡本＝今年もだいぶ花芽をつけている状況にある。

堤の東側、指定地外の一部、樹木の伐採により、堤の上の部分から西側にハナショウブが見られるようになった。今週末から来週明けには、花が咲き出すと考えられる。花茎数の調査によると、21年は、6月の下旬から花が咲き始め、花の茎は681つけて、花自体は1,457咲き、22年は、同様に6月の下旬から咲き始め、茎は1,005、花は1,896咲いた。今年も順調に咲くものと考えられる。

瀬川会長＝他の草が生い茂り、花が見えないのでは？

中村課長＝昨年、土手のところから見えなかった。そのため、盗採されたり、日陰になったりしたので、土手の東側を刈り取りし、上から全部見られるようになり解消された。今度は南側の樹木が問題になっている。

佐竹委員＝順調に増えているようだが、水の管理はどうなっているのか？

岡本＝笹が生い茂っている西側のところにも水がいきわたるよう、流れを変えて全体に水がいきわたるようになっている。

堤の上の部分も伐採して、日当たりがよくなって、芽が出てきた。

圃場の手前、公園のような広場になっているところにも大きな株が2,3株花をつけるようになった。

菊池委員＝「御屋敷」説明板は、どこに移設したのか？

岡本＝土地所有の方が、家を建て直すということで、一旦別のところに移設保管し、改めて、設置場所を従来の敷地内の南に移動し、間もなくその作業に取りかかる予定となっている。

佐竹委員＝ニホンカモシカ処理、31件となっているが、その死因といつごろこの処理が多いのか？

岡本＝死因については、通報を受けて現場に行くと、腐敗が進んでおり、特定するのが難しい。

中村課長＝特定が難しいが、パラボックスが多い。体全体、瘡蓋になり、ひどい状態のものがある。これについては、職員に取扱いを注意させており、処理に使った手袋などすべて焼却処理している。東和、大迫では、パラボックスが多かった。時期は、春先が多い。

岡本＝春先、放流した水路にはまって死んでいる例も多い。

(震災被害について)

瀬川会長＝被害7件だが、これだけで収まっているのか？

小原係長＝所有者から連絡があったもの、また、連絡のないところについては、1件1件すべて確認し、被害状況を確認した。まだ、余震があることから、随時状況確認は実施していく。

鎌田委員＝安浄寺以外の仏像で被害はなかったのか？

小原係長＝指定文化財は、1件1件確認しており、他にはなかった。指定文化財以外のもの、境内の灯籠が倒れたり、山門がずれたり、とかの報告も受けている。

中村課長＝指定文化財以外の被害はあったと思われるが、こちらでは、指定文化財ということで、把握している。

瀬川会長＝丹内山神社は、早急に対処しなければならない。

中村課長＝現場を見てきたが、かなりの損壊状況である。石垣の上の部分は、ほとんど、はずれてしまっている。

瀬川会長＝総代、世話人に働きかけが必要。

瀬川会長＝京都科学などに仏像を送り込んでいるのは？

岡本＝いまのところない。安浄寺の仏像については、安浄寺の知り合いの仏師に修理を依頼している。成島毘沙門堂の阿弥陀如来立像について、現地で京都科学の方に見ていただいた。今後、どのように修復するかなどの調査をしている。

小原係長＝仏像修理で問題になるのは、どの程度に修復するか。安浄寺の仏像については、指定時当時に戻すこと。よく、被害があると、その修復後、前より金ぴかになったりする例があるが、そのようにならないように確認をしている。安浄寺の仏像は、本山系の京都の小堀仏具で修復している。

(2) 平成23年度文化財関係事業計画について（資料P10～14、17）

中村課長説明（説明内容省略）

※第2回審議会は、新たな指定案件を諮ることを考えており、開催時期は、現在11月開始予定であるが、遅くなるかもしれない。

（小原係長 みちのく神楽大会6月26日開催結果の報告）

○質疑応答（主なもの）

小野委員＝「広報はなまき」の歴史探訪の筆者名を明記した方がよい。

岡本＝この原稿は、原案や資料を秘書政策課に渡し、秘書政策課が編集しなおして掲載している。この際、他の記事と同様、筆者の明記はしないこととなっている。

小野委員＝明記することにより、記載内容の責任が明らかになり、内容についての問い合わせ先が明らかになる。

瀬川会長＝意見として聞いてください。

高橋進委員＝これからの新たな文化財の指定について、お願いしたいもの

- ・藤沢町天神の石碑群

及川佑忠（及川華山）の碑・・・漢文で華山の本の文章と同じ記載。書いた人が、江戸の当時有名な、井上四明がきちんと書いた文章で、これが花巻に残っていること、内容も及川さんをほめたたえた内容となっている。

この碑が松の木に押し倒されて、なにかあった場合、半分に折れるのではと危惧している。対処必要と思う。

- ・芭蕉の句碑

「木（こ）の下（もと）は しるも膾（なます）も さくらかな」
各地にこの句碑があるが俳句で残っている日本で最も古い句碑と思う。

「木の下に」「木の下は」2つの説に分かれている。

花巻だけ「木の下は」となっており、貴重である。

- ・二郡見聞記を書いた和田甚五兵衛の筆塚

花巻の歴史を語るうえで、重要な資料で、内容は、江戸時代当時の歴史を克明に書いている。この碑をもっと評価してよいのではないか。

以上の三つが特に重要と思う。

その他に、管轄が違うかもしれないが、古文書の解読調査するうえで、盛岡の県立図書館、中央図書館で「和本の目録」があつて助かる。花巻図書館に「和本の目録」の有無を担当から確認したところ、無いということであった。花巻の「和本の目録」作成を望む。

菊池委員＝指定文化財の候補について

- ・石鳥谷の松尾神社

明治26年4月13日に建てられたもので、石鳥谷町好地と紫波町に、当時の、60名ぐらいの門人、関係者の名が刻まれている。その後岩手県の酒造業界のリーダーとして活躍した方々がいる。

- ・安部道

平泉が世界文化遺産となったが、これも平泉に関係している。紫波町では指定になっている。このままでは、いずれ消えてしまう。文化財指定が必要。

- ・石鳥谷にも芭蕉の句碑

石鳥谷の（種田）天満宮にも芭蕉の句碑「古池や蛙飛び込む水の音」がある。

- ・（指定ではないが）松林寺 資料の保存、建物の老朽化

明和5年、約240年前建立、老朽化で傷んできている。今後建物の管理をどのようにしていくかが課題。

- ・石鳥谷小学校 好地旧一里塚（県指定）までの道（田のあぜ道）

草が生い茂っており、一里塚に行けない状況。

いつでも行けるように整備を望む。

- ・地域の歴史を伝える人からの伝承の確保

年々、地域の歴史を知る人が高齢化、死亡により少なくなっており、その方々の伝承の確保が課題と思われる。

及川教育長＝今、指定について推薦いただいた案件、これまで意見をいただいていた案件について、こちらでも研究し、またさらに皆様からご意見をいただき取り組んでいきたい。指定については、その所有者の意向も絡みますので、難しいところもあるかと思われる。

瀬川会長＝当会議の場だけでなく、指定についての候補があれば、事務局に申し出ていただきたい。次の会議で議題としたい。

中村課長＝お願いとして、できれば、その推薦されるときに、推薦の内容と要綱を書いたものを提出していただければ、それを参考に、こちらで資料の整理、調査できるので、よろしくお願ひしたい。様式は特になく、任意。

瀬川会長＝久田野、花巻城のことについて、遺跡公園にすることで、市が買い上げ調査しているが、その後の計画はどうなのか？

武徳殿の前の土塁はどうするのか？

花巻小学校の校庭の排水工事をするとのことだが、どうするのか？

及川教育長＝久田野遺跡については、市としては当面凍結としている。

中村課長＝道路の件については、試掘してみたが、1 m半以上の深さであり、道路ができて、下の遺構には影響ない。土塁は若干削るのもやむを得ないとして進んでいる。残りの部分はこちらの予算で毎年草刈りをしている。また、説明板を今度建てる予定。花巻小学校のグラウンドについては、盛土して暗渠を入れるということで、下の掘削はほとんどしないということで、正式な工事図面が出てきたら、協議をしたいと考えている。

瀬川会長＝花巻城本丸の調査はしないのか？

中村課長＝直接その場所での工事があれば、それをキッカケにして行うことがあるかもしれないが、今のところそのようなことがなく、実施はしない。

瀬川会長＝平泉の世界遺産に関連して、花巻城などは、見せる場所がない。

中村課長＝花巻城は確かに見せるようなところは残っていない。花巻城を観光的に見せるのは、難しい。むしろ、関連で言えば、東和の丹内山神社とか、毘沙門などのほうが、関連性が強い。

今、観光課と話をしているが、観光ルートを検討しているとのことなので、協議していきたい。

以上で「4 協議終了」

5 その他

事務局から、総合文化財センターをまだ見てない委員の方に、会議終了後の案内連絡。

6 閉会 14:50

傍聴者 1名